

大内かわら版



大内地区で取組んでいる『地域の教科書』づくりの情報や、地域を巡り出会った感動などを、「大内かわら版」を通して、地域おこし協力隊・阿部倫子（りん）がお伝えします。

※地域おこし協力隊とは・・・人口減少や少子高齢化などの課題を抱える地方に、地域外の人材を新たな地域社会の担い手として定住させ、地域力の維持・強化を図る活動で、総務省の取り組みの一つです。

大内地区に関わる様々な催しや情報をお伝えします（2月～3月中旬）



丸森町民俗芸能鑑賞のつどい2/12
青葉神代神楽保存会、大内山伏神楽保存会、青葉田植踊保存会が登場！素晴らしい舞に魅了されました。



山屋敷お茶のみ会「山吹会」2/15
折り紙で雛人形を作りました。「うれしいひなまつり」も合唱♪皆さんの笑顔も花開き、春感じる心地良い時間でした。



婦人会新年会・手芸教室 2/22
花形のミニストール作り！巧みにカギ針を使いこなすお母さん方の器用さに、熟練の女子力を感じました。



青葉女子会（仮名） 2/23
青葉の女子だけで語らう会が立ち上がりました。懐かし話や近況など、皆さんの笑顔と元気に癒やされました。



男の料理教室 2/24
年4回開催した料理教室最終回。ひな祭りを前にのり巻作りに挑戦です。食材準備も巻き方も、てきぱきこなされていました。



春野菜づくり講習会 2/28
渡辺採種場の洞口先生から野菜の特徴や、栽培方法のコツやアドバイス。皆さん熱心に聞き入っておられました。



横手婦人会彼岸花づくり 3/1
1輪ずつ丁寧に仕上げる手間かかる作業も皆で和気あいあい楽しみました。花は「いきいき交流センター大内」で販売中です。



大内保育所ひな祭り&感謝会 3/3
日頃お世話になっている地域の皆さんをご招待して、一緒に歌やダンス、ゲームに茶会♪皆が笑顔のひな祭りでした。



防災訓練（炊き出し訓練） 3/4
まちづくりセンターで火事を想定した防災訓練が行われ、消防団や婦人防火クラブの皆さんなど、炊き出し訓練も行いました。

第3回「地域の教科書」づくり推進会議を行いました 3/10

今回の会議では、今まで出た様々なご意見やヒアリングなどを参考に、**大内地区の「地域の教科書」の進め方イメージが決定**いたしました。他自治体の事例や、行政区長など皆様からいただいたものを参考に、**まずは第1段階の完成を目指します**。詳しくは次号で説明いたしますのでご覧ください。



また、会議で報告させていただいた「各行政区の組織・役割調査」については、今後も情報収集活動やヒアリングを続けてまいります。こちらは、**教科書づくりだけではなく、大内地区のまちづくりに活用できるよう、有意義なものにしてまいります**ので、今後ともご協力・ご助言いただけますようお願い申し上げます。

地域の教科書とは 大内地区ならではの慣わしや、各地域の暮らしの中の決まり事・役割、季節行事、地域の魅力・特徴などをまとめた冊子で、住民の皆さん自身が、大内の未来を考え作っていくものです。（大内地区協議会・協力隊がサポート！）

- 移住希望者に、大内の魅力や課題、地域の風習など、ありのまま伝えます。
- 地元を離れた大内出身者や、地元の若者層にも、地域の良さや継承していきたいことを伝えます。
- 地元住民の皆さんにとっては自分達の地域の魅力や価値を改めて見つめ直す機会になります。

岩手県から大内地区へ視察研修 2/24

先月研修に伺った岩手県「一般社団法人マルゴト陸前高田」さんと、ご案内役だった「パナソニック東北創生」の皆さんが丸森町に1泊2日でいらっしゃいました。丸森町内を巡られ、最終日に大内地区を訪問。まず「いきいき交流センター大内」へ。塩沼組合長と門間さんよりセンターの説明をいただきました。その後、食品加工場も見学。新しい機材導入の話をお聞きするとともに、**えごま油やえごまパンの**



美味しさに皆さん感動され、PR方法やひと工夫でもっと魅力的な商品になる!と加工担当の皆さんと話が盛り上がり今後は楽しみにになりました。

大内まちづくりセンターに移動してからは、大内地区協議会の取り組みを事務局長から説明。その後、現状の課題や将来像などについて皆で情報交換しながら考えました。「**ここには豊かな自然や史跡、直売所など素晴らしい資源がある。それを**

認識して、一緒に考え活かしていくことが大切」「**地元の良さを再発見する機会となる『地域の教科書』づくりもカギとなるのでは**」など外からの視点で、大内地区を見た率直なご意見は、新たな発見となり地区の魅力を確認することにも繋がりました。

NEWS!! 「佐野地織保存会」が出演の映像が銀賞受賞

宮城県南のPR映像コンテスト「クリエイティビティアワード東北（CAT2017）」が開催され、表彰式には、協賛賞特別審査員として、宮城県南4市9町地域連携幹事自治体である、丸森町の保科町長もご来場されました。この中で、仙台市のPRプランナー松本尚美さんの作品が**銀賞に輝きました!**



この作品は、**丸森町の養蚕・繭・真綿・絹糸・地織・織人**をテーマに、この地で育まれた大切な遺産を映像で表現したもので、**大内地区の「佐野地織保存会」の皆さんと、耕野地区で染織をされている方が出演**しております。現在「クリエイティビティアワード東北（CAT2017）」ホームページ（<http://ca-tohoku.com/winners/>）で受賞作品が一般公開されています。インターネット環境がある場所でしたら検索して見る事ができます。もしインターネットが使えないけど見たい!という方は阿部りんまでお知らせください。

